

が交流を深め、融和を図っていき、より活発な事業の推進が必要と考えます。

教育長の所見を伺いたい。

相互交流の推進に努める

答・教育長

三区の文化スポーツ各種団体交流事業の推進については、三区の交流実践を図り、活力ある町づくりを推進して行くためには、文化スポーツ団体の果たす役割は非常に大きいものがあり、行政としても積極的に係わりをもって、相互交流がなお一層活発に活動されるよう指導に努めてまいります。

問・再質問

三区の文化スポーツ団体の交流を通して、町民が互いに話し合う場を持つことにより、地域の事情をより知るきっかけになると考えます。

現場からこうした交流事業の要請があった場合は、行政は大いに予算をつけて奨励し

ていただきたいと考えますがいかがでしょうか。

答・教育長

三区の文化スポーツ各種団

庁舎にベビーカーの配備を

問

庁舎内を訪れる若いお母さん達が、小さな子供を抱っこしながら手続きに必要な書類の記入などを行っているのが実態です。

ベビーカーの下には荷物受

けもあり、子供を乗せた後

両手で押しながら庁舎内で用

事を済ませることができません。

少子化の中にあつて、身近なところから子育てを応援していきたいと考えますが、町長の考えを聞かせて下さい。

体の交流事業については、自主的に色々な事をやりたいという団体活動に、積極的にバックアップしていきたいと考えています。

澤田光子 議員

利用状況を検証し

追加配備を考える

答・町長

質問の趣旨を踏まえ職員に対し、家庭内における使用済みのベビーカーの提供を早速

呼びかけました。

早く職員より無償の提供があり、早速本庁ロビーに配備をしたところです。

なお、配備したベビーカーの運用にあたっては、提供者の善意を尊重しながら、多くの方々が利用されるよう、広報紙などで周知を図るとともに、今後の利用実態を検証しながら追加配備を行いたいと考えています。

問・再質問

本庁においては、もう一台の配備をお願いできればと考えています。

また、本庁だけでなく、各



支所においても必要と見られる場合については、早急に対応すべきと考えます。

答・町長

利用状況等を十分検証しながら、その後の対応を考えます。

各支所については、さらにまた職員等にお問い合わせ、ただで設置できるよう努めてまいります。

国保病院の土足での出入りについて

問

病院へ足を運ぶ人たちは、高齢者の方々、体に障害を持つている人たちが病気を治すために出入りしています。

その人たちの中には、靴を脱いだりはいたり困難だったり、スリッパに履き替えることにより歩くことに支障をきたしたり、スリッパを履き替えることにより靴の置き場所がわからなくなったりと、非常に困難をきたしているの

合併処理浄化槽の普及について

大口 義孝 議員

町民の意向を踏まえ
進めていく

答・町長

旧北檜山町においては、条例により、生活雑排水による公共水域等の水質汚濁の防止を図り、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的に、一件当たり三十万円を補助しており、合併後の事務事業調整の結果においても合併処理浄化槽設置について補助を行うこととされています。

環境省が所管する浄化槽設置整備事業の採択を受けるには、前段として町単独事業で生活排水処理基本計画を策定する必要があり、これは全額町負担ということになります。更には、処理人槽別に補助基本額が定められていますので、条例の改正が必要となります。そこで、町民の方々の意向

問・再質問

地域懇談会において、体に障害を持った方からの切実な要望がありました。

病院関係者については、自分の足に合ったものを履いていることから、余り気にならないかもしれませんが、スリッパをはいて院内を回って歩いたときに、一番苦慮したところは二階へ上がる階段でした。

スリッパを履いての階段の上り下りは難しいものがあり、あるおばあちゃんは、スリッパを手に持ち、上り下りをしているのが実態です。

そのことを考えた上でも早急に改善すべきと考えます。

答・町長

すぐということにはなりません。北檜山国保病院については、早急に対応をさせていただきます。ほかの町立病院についても、その状況をよく調査しながら対応を図ってまいりたい。



が現状であります。

その現状を踏まえたときに、思い切って院内を土足での出入りができないのか、町長の見解を聞きたいと思えます。

早急に対応したい

答・町長

北檜山国保病院においては、来院された方にスリッパの履き替えをお願いしています。

他の多くの医療機関、又町の施設においても土足で出入

りすることが一般化している状況にあることから、新年度の極力早い時期に、土足、いわゆる外履きでの出入りができるよう取り進めたいと考えています。

しかし、病院の床構造はPタイルということで、清掃の水分により剥離する可能性が高いため、一部ゴム長靴等についてはサンダルに履き替えたいと工夫により対応したいと考えています。

の施設においても土足で出入

行財政改革について

大根田 登 議員

を把握するため、公共下水道地域及び漁業集落排水区域を除きアンケート調査を実施し、結果を踏まえ補助事業によるか、町単独で実施するかの判断をしたいと考えています。

合併浄化槽設置の必要性のPRのほか、町民の方々の意向を踏まえ必要な予算を措置する考えでいます。

が入ってきますが、合併浄化槽の場合は地元の小売店で仕入ができ、施工についても地元業者ができます。

産業、また、生活のレベル向上の面で、この合併浄化槽は非常に大きなプラスになるものと思っています。

農業集落の排水の見直しも含めながら十分に考慮していただきたい。

問・再質問

アンケート調査の結果を踏まえて、補助事業（環境省）による町単独事業で実施するかを決めたいとのことですが、アンケートのとり方次第で答えは変わってくると思います。

行政として本腰を入れて普及を図っていただけだと思うが、町長の見解を再度伺います。

また、せたな町の誇れるものは自然です。この自然をいかに守り、また、育てていくことが大切なことと思います。下水道、集落排水の整備をしますと、元請は大手ゼネコン

答・町長

町内の水質汚濁の防止、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上という観点から、この必要性については十分理解しています。

アンケート調査においても、十分必要性についてPRしながら町民の意向調査をしてまいりたいと思っていますし、その結果を踏まえて判断していきたいと思っています。

これによる他の産業に対する波及効果も大きいということも考えながら、進めていきたいと思っています。

問

町長より提出された十九年度予算案の内容を見ると、不足する一般財源の穴埋めのため、経常経費の削減のみならず、特別職や議員報酬はもとより、職員給与など人件費をも削減してもままならず、自治体の仕事の根幹をなす住民サービスが、旧三町の優れたところを引き継ぐべきところ、必ずしも町民の望む姿となっていないません。

国、北海道とも行財政改革が進む中、せたな町も厳しい財政事情が今後とも続くものと思われれます。

今町長がやらなければならぬのは、職員でできることはすべて職員でやること、意識改革や、大幅な職員数の削減に努めるべきと思いい、その所信を伺います。

答・町長

国、北海道、さらには全国の市町村においても、行政改革の取組みが進められ、当町においても行政改革は避けて通れない行政課題であると認識しています。

まちの規模に見合った適正職員数とするため、組織機構の再編整備と併せ、勸奨退職制度の活用、再任用制度の凍結、臨時職員の抑制など、さまざまな手法を駆使して、職員でできることは現有職員で対応するという基本原則に立ち返り、職員の適正化と意識改革を図ってまいります。

職員は、地方公務員法で定める規定に該当しなければ、職員の意に反して後任、免職することはできないと定められています。

問・再質問

職員の削減は、定年退職に伴う必要最低限の補充や、新規採用者の抑制に努めながら、職員の純減目標を定めた、せたな町定員適正化計画の中で計画的に職員抑制に努めてまいります。

新せたな町は、財政の厳しい自治体同士の合併であり、私は行政コストの削減に相反する在任特例や総合支所の採用について議決した一人として反省するものであります。

しかしながら、この危機的な状況を乗り越えていくためには、基幹産業である農林漁業や民間の事業を活性化させながら行政のスリム化を図り、少数精鋭の職員体制を早急に実現させなければなりません。そのためには、職員の早期退職を促す制度の充実、さらには外部委託を職員自らやるといったことをやらなければ、次年度以降も給与の削減や住民サービスの悪化が続くものと思えます。

民間出身の高橋町長ですから、民間の感覚で行財政の改革を進められるよう再度伺います。

答・町長

質問の行政のスリム化や外部委託は、新年度で進めていかなければなりません。

あわせて産業の振興も図らなければ、町づくりができるものではありません。

私は民間出身ですので、行政経営を民間の立場から、限られた財政の中でいかに町民サービスができるか真剣に考えながら、メリハリのある予算付けをさせていただきました。

定員適正化計画についても、平成十七年九月から二十二年三月の期間で約二十三名、六・九%減らす目標値を掲げて進める予定です。

せたな町内のある老朽化した建物について

大湯 圓 郷 議員

問

各区で現在利用している母子の家や集会場も相当年数も経過しており、例えば北檜山区新成の母と子の家は築三十九年であり、そろそろ改築か新築かの時期にきていると考えます。

瀬棚区にも大成区にも年数を経た建物があります。

我が町には財源がない、少ないというのはわかっていますが、町長はこのような建物に対してどのような考えを持っているか伺います。

効率的な施設運営に努める

答・町長

町民福祉の増進や、地域活動の活性化を目的に、町民ニーズに即した集会場や、各種の施設整備をしてきたものと理解しています。

太櫓地区にある

鵜泊漁港について

問

太櫓地区鵜泊漁港について、函館土木現業所とせたな町の指導によって、毎年のように整備が進み、本当に感謝しています。

私たちが港でイベントでもと考えていますが、町側として

関係者と協議し検討

答・町長

鵜泊港太櫓分區で、皆さんに親しんで頂けるようなイベントということですが、私も同感であります。

何かイベントを実施して町の活性化につながる事は非常に喜ばしいことです。

しかし、漁業と游漁の調和、これも必要不可欠であると考えています。

マナー及びモラルの向上や相互の活動、取組みなどの情報の提供など、漁業者とタイアップを図って実施すべきと考えています。

イベント等については、関係者の方々と協議しながら検討していきたいと思っております。

